

事業所名

川崎市子ども発達・相談センター かみみーるさいわい

支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

22 日

法人（事業所）理念		①充実した質の高いサービスの提供 ②地域に根ざした施設運営 ③人材の確保・定着・育成 ④法人の経営基盤の整備					
支援方針		子どもの療育と保護者支援を軸として日常生活に役立つ支援・提案を行う。幼児期だけではなく将来的な生活を想定して、子どもの持っている力を生かして、療育をすすめていく。保護者の精神保健を考慮して、健全な家族生活が送れるように関係機関と連携をとって運営していく。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・ 来所時には検温、手洗いなどを含む身支度を自立して取り組めるようにしています。自分で気づいて取り組めるよう、声掛けと共に視覚的にも掲示（構造化）して行動を促します。 ・ 制作活動では、微細運動として、シール、ハサミ、クレヨン、糊などの適切な使い方を伝えると共に、手指を意識して使うことを促します。手指の使い方の向上が、生活に必要な基本的技能の向上に繋がるようにしていきます。					
	運動・感覚	・ 親子遊びや運動遊びの中で、意識して身体を使うこと（粗大運動）を通して、視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有覚を統合的に活用できるように支援し、姿勢保持や力加減、バランス感覚などの向上を促していきます。また同時に集中力や持続力、コミュニケーション能力の向上にも繋げていきます。					
	認知・行動	・ 来所から退所までのプログラムとその流れを視覚的に示し（構造化し）、見通しを持たせ、安心し落ち着いて自発的に行動できるように環境設定をしています。 ・ 集団遊びでは、ルールを言葉だけでなく視覚的に示す工夫をすることで、理解して意欲的に取り組めるように支援します。さらに「またやりたい!」「少し難しそうだけどやってみよう!」という意欲に繋がるよう、自ら取り組むことを大切に、「できた!」「やった!」という成功体験が積めるようにも支援します。その為、お子さまのコンディションに応じて「見る参加」「部分的参加」「大人と一緒に参加」を肯定的に取り入れ、スモールステップの支援を行います。					
	言語 コミュニケーション	・ まずは人に伝えようとする意欲を向上させることを大切にします。要求だけでなく拒否の気持ちも大切にします。言葉、またはお子様にできる望ましい表現方法（発声、身振りなど）で伝える事を促し、できた時にはしっかりと受け止めてその表現方法が定着、拡大していくように支援します。このことは同時に、望ましくない言動（痾癩など困り感を伴う言動）の減少にも繋がります。 ・ 思いや気持ちの表出を促す場面は、自由遊びを含む全てのプログラム場面で想定されており、その都度、望ましくない言動をそのままにせず、その場で望ましい言動を伝え、促し、お互いに心地よいコミュニケーションが取れるよう、繰り返し丁寧に関わります。					
	人間関係 社会性	・ あつまりや集団遊びの中で、ルールや順番の理解、周りの状況に気づくことや、周りに合わせた行動（気持ちに折り合いをつけた行動）が取れるように支援していきます。 ・ 自由遊びでは好きな遊びで、場や物の共有をしながら、対大人・対友だちとやり取りする機会を設定し、人間関係や社会性の基礎となる経験を積めるように支援します。人間関係・社会性の向上は、ご家庭や所属園において活かされるように意識しています。					
家族支援		・ 保護者の困り事や悩み事の軽減 ・ 親子療育を通して、その場での助言・援助（子育てサポート） ・ 保護者プログラム〈懇談会・学習会〉（家族支援） ・ 個別面談（家族支援）			移行支援		・ 本人に対するの園訪問支援 ・ 地域の児童発達支援事業所・放課後等デイサービスへの移行支援 ・ 地域療育センター（医療）への移行支援 ・ 就学相談・教育相談への案内
地域支援・地域連携		・ 園訪問の実施 ・ 保育園、幼稚園の職員の見学受け入れ ・ 地域の児童発達支援事業所職員の見学受け入れ			職員の質の向上		療育センター研修（法定研修、新人研修、AED ケース検討等） 四療育研究大会 所内研修 外部研修への参加等
主な行事等		なし					